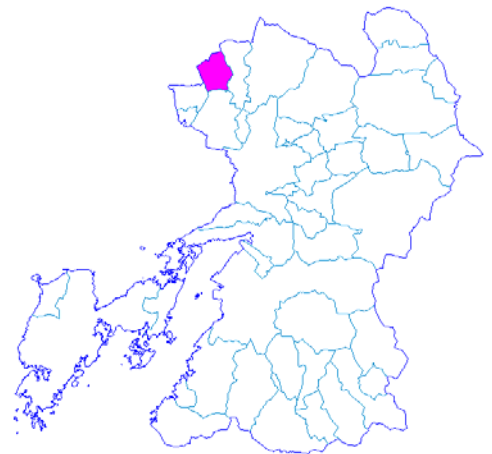


保険者訪問

自然あふれる関所の里 南関町



史跡豊前街道南関御茶屋跡

南関町の概況は？

南関町は、熊本県の北西部、福岡県との県境にある、山々に囲まれた自然あふれる町です。九州自動車道の南関インターチェンジがある県北の玄関口で、古くは関所が置かれ、交通の要衝として発展してきました。関所は「南の関」と呼ばれ、町名の由来となっています。参勤交代の折は大名がこの町を通り、藩主は「御茶屋」と呼ばれる建物で宿泊や昼食をとっていました。御茶屋跡は平成 15 年に国の史跡に指定され、同 17 年に修復工事が完了し、同 20 年度には熊本県地域景観賞を受賞し、現在はボランティア団体「南関宿場町伝楽人」により大切に管理運営されています。

町では玉名市・荒尾市との境にある小岱山の麓から良質の粘土がとれたことから、焼き物が盛んになったと伝えられ、現在 9 軒の窯元があります。中でも「小代焼」は 400 年の歴史を誇り、平成 15 年には国の伝統的工芸品に指定されました。その他の特産品として、ともに江戸時代からの歴史を持つ南関そうめんや南関あげなどが有名です。

今年 7 月には、町内のセキアヒルズに建設された九州最大級のメガソーラー施設が稼働を始めました。熊本県内の売電施設第 1 号で、毎時 3.3 メガワットの太陽電池出力が可能です。

人 口	10,753人	
国保被保険者数	3,139人	
	一般	2,806人
	退職	333人
後期高齢者数	2,222人	
世 帯 数	4,136世帯	
	国保世帯数	1,777世帯
医療機関等数	医科	4機関
	歯科	5機関
	調剤薬局	2薬局
担 当 課	福祉課	

(平成 24 年 6 月末現在)



小代焼は、釉薬の深い美しさと自由奔放な流し掛けの様子が特徴だ



南関そうめんは、今も昔と変わらぬ伝統の味と製法が守られている



南関あげを甘辛く煮て、玉ねぎと一緒に半熟玉子でとじた「南関あげ丼」

## 力を入れている事業は？

### 「リフレッシュ健康教室」で運動を始めるきっかけづくり

「運動したいけれど時間や場所がない」「どんな運動がいいかわからない」など、健康が気になるもののなかなか運動に取り組めない人のために、平成 22 年度から、南関すこやかスポーツクラブ（現 NPO 法人 A-life なんかん）に委託して健康教室を開催しています。7 月から 10 月までの毎週水曜日夜に 1 時間、全 14 回の教室で、国保被保険者に限らず広く 30～64 歳の住民が対象です。

広報誌で受講者（定員 25 人）を募集し、今年度は 20 人が参加しています。教室の一番のターゲットは 40～50 代の人、特に男性ですが、年代別で 50 代の参加は多かったものの、男女別では男性 3 人、女性 17 人と男性の参加は少ない状況です。

内容は、いろいろ試して自分に合った運動を見つけてもらえるよう多種目にしていきます。ウォーキングが 5 回、太極拳が 3 回、コアダンスと歌に合わせたエクササイズが各 2 回です。ウォーキングは、昨年末に町民グラウンドにウォーキングコースが整備されたことや「教室終了後も自分のペースで継続できる種目を」という昨年度の参加者アンケートも考慮して、今年度新しく取り入れました。また、今年は体力・体組成測定も初回と最後に実施します。

教室で運動の楽しさや爽快感を体験して、健康づくりの一つに運動を取り入れる習慣につなげてもらえればと考えています。



ポールを使ったノルディックウォーキングに取り組む受講者の皆さん。右は町民グラウンドに整備されたウォーキングコース



### 特定健診受診率向上のため訪問勧奨に力を入れる

南関町は国保の一人当たり医療費が県内でも高い状況が続いています（平成 20、21 年度 6 位、22 年度 7 位）。心疾患やがんが多く、重症化している人も多い状況です。また、人工透析者数は、現在はそれほど多くないものの、健診で蛋白尿の出ている人が多く、将来的に慢性腎臓病による人工透析者増も危惧されます。こういう状況を住民に少しでも理解してもらうため、年 1 回、保険証更新の時期に、国保医療費の状況や糖尿病、慢性腎臓病などに関する情報を「国保だより」に掲載して配布し、啓発に努めています。

特定健診は今年度、医療機関での個別健診を 7～11 月、集団健診を 10 月末に実施します。5 月に希望者を募集したところ、対象者 2,200 人弱のうち申し込みがあったのは約 3 割と少なかったため、集団健診まで通知と訪問により受診勧奨することにしています。

受診率は、平成 20 年の 48.4%から、21 年度 44.9%、22 年度 42.4%と下がっています。そこで未受診者対策として、まず検査内容の充実を図り、標準で貧血と心電図を追加、集団健診には眼底検査を追加しました。受診勧奨訪問にも力を入れ、23 年度は国保保健事業として看護師が健診を申し込んで受けていない人を重点的に訪問して勧奨しました。各地区の保健推進員にも、生活習慣病に関する研修受講後に、地区住民を訪問して受診勧奨してもらいました。その際、生活習慣病が悪化したらどうなるかという手づくりの資料を持参して説明してもらいました。また、町が県境にあり隣県の医療機関がかりつけ医という住民も多いことから、医師会の協力を得て隣県の 1 医療機関を健診機関に追加しました。

23 年度の受診率は 45.9%と上昇しましたが、治療中の人や若い世代、新規受診者が少ないため、今後も地道に受診勧奨と啓発に取り組んでいくことにしています。



## 担当者、他町と連携して収納率向上に取り組む

町の保険税収納率は、平成 23 年度（5 月）が 94.52%で、ここ数年ほぼ同じくらいのレベルで推移しています。収納率向上に向けては、福祉課国保係が短期被保険者証の交付、住民課徴収係が通知発送、搜索・差し押さえなどに取り組んでいます。

通知発送は、まず、各期ごとに注意書兼督促状を送り、年 2 回催告状を送るほか、状況に応じて納付願いや最終通告、差し押さえ予告などを送っています。

滞納者には更新時に 3 ヶ月または 6 ヶ月の短期保険証を交付しますが、実態把握のために、地区担当による班体制（二人一組の 5 班）で定期的に滞納状況を確認したり、臨戸訪問して催促や調査を行っています。

また、平成 22 年度から玉名郡の 4 町で併任徴収に取り組み、合同で悪質滞納者に対する搜索を行っています。預金や給与、動産等を差し押さえ、動産等は公売会やインターネット公売にかけています。7 月には今年度 2 回目のインターネット公売を実施したところで、“悪質滞納者には毅然と対応する”という町の方針が住民の間にも理解されつつあるようです。



南関町福祉課の職場風景

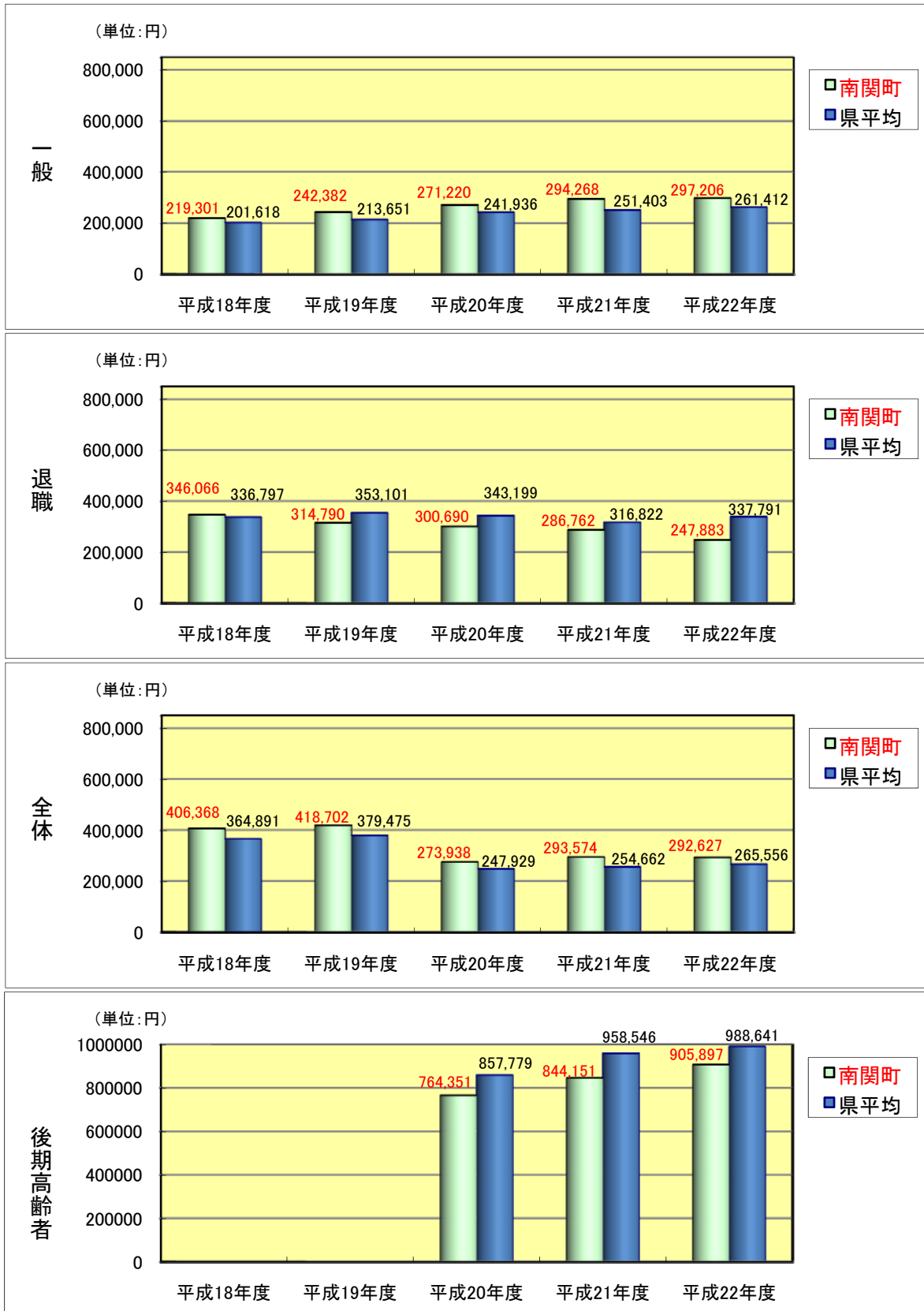
なんかん トッパ丸



許可番号 第 12-15 号

南関町のゆるキャラ「なんかんトッパ丸」。担いでいるのは南関そうめんと南関あげ。あらゆる難関を突破し、人々に幸せと勇気を与え、関所の町を守る武士として活躍中だ。

法制別 1人当たり診療費



注：上記グラフで、一般は、国保被保険者のうち「退職者医療制度の適用を受けない者」、退職は「被用者年金の老齢（退職）年金受給権者であって、被用者年金の加入期間が20年以上若しくは40歳以降10年以上の者及びその被扶養者」をいい、全体の数値は一般と退職の合計となっている。（ただし、平成18年度と19年度は老人医療分も含まれている。）  
後期高齢者は、平成19年度までは制度施行前のため表示していない。